

仮称大田区立みらい学園 事業だより

令和 7 年 1 1 月
大 田 区 教 育 委 員 会

基本設計が完了しました

現在の学びの場になじめず不登校状態にある児童・生徒の新たな学びの場となることを目指し、令和6年度に施設整備の基本構想・基本計画を策定しました。この度、基本構想・基本計画に基づき、基本設計が完了しましたので、お知らせいたします。

不登校施策のセンター的・パイロット的機能の役割を果たすため、「教育機能（学校）」に加え「相談機能（（仮称）不登校対策支援センター）」を備えた複合施設として整備します。また、地域とともにある施設として、体育館や特別教室の地域開放を積極的に行い「地域開放機能」も充実させます。今後、基本設計書にまとめた考え方に則り実施設計を行い、順次工事へと進めてまいります。

◇基本設計における施設整備方針

目指す学校像(基本構想・基本計画)
社会とのつながりを大切にした多様な学びを通して
不登校状態にある児童・生徒の社会的自立を目指す学校

多様な居場所 × 変化のある空間
＝ こどもたちの学びと出会いの場

こどもたちが「多様な居場所がある安心感」を土台に、
「自らの感性や興味関心に気づき」
「仲間や地域・社会と出会い」
「仲間づくり・社会との関係づくりに動く」

自然と社会のつながりの中で、
こどもたちが育つ居場所をつくります。

建築計画を具体化するための
8つの整備方針項目

- ①外観デザイン
- ②内部空間構成
- ③パレット構成
- ④構造デザイン
- ⑤環境デザイン
- ⑥ランドスケープ
- ⑦地域力
- ⑧複合化

◇建築概要

- ・建築面積：約3,550㎡
- ・延べ面積：約8,200㎡
- ・階 数：地上3階
- ・構 造：混構造
- （鉄骨造
+鉄筋コンクリート造
+鉄骨鉄筋コンクリート造）
- ・建物高さ：約15.0m



◎敷地北西からの鳥瞰イメージ

※本資料における「新校舎イメージ画像」、「全体スケジュール（予定）」、「工事ステップ図（予定）」は、現時点での予定であり、今後の実施設計及び協議等に伴い、変更する場合があります。

◇全体スケジュール（予定） ふれあいはずめ利用=

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度
工程	基本設計 実施設計	ステップ1	ステップ2	ステップ3	開校準備	ステップ4	ステップ5	
利用条件		利用不可期間（既存建物・グラウンド）					新校舎・新体育館利用	
		既存体育館利用可能期間					★みらい学園開校予定	
		既存体育館一時利用不可期間					旧体育館解体	
						ふれあいはずめ利用終了		

◇工事ステップ図（予定）

ステップ1
・ふれあいはずめ配線配管切替工事

ステップ2
・仮囲い設置
・ふれあいはずめ校舎解体

ステップ3
・新校舎建設

ステップ4
・仮囲い移設
・新校舎運用
・ふれあいはずめ（体育館）解体

ステップ5
・仮囲い拡張
・外構整備工事

完成

凡例

- 工事範囲
- 新設
- 新校舎
- 仮囲い
- 工事動線・工事ゲート
- 運用範囲
- 解体
- 既存建物
- ↓ 利用者動線

＜お問い合わせ先＞
教育委員会事務局
【基本設計に関すること】
教育総務課施設担当 電話：03-5744-1399
【学びの多様な学校における教育活動に関すること】
指導課 指導主事 電話：03-5744-1435

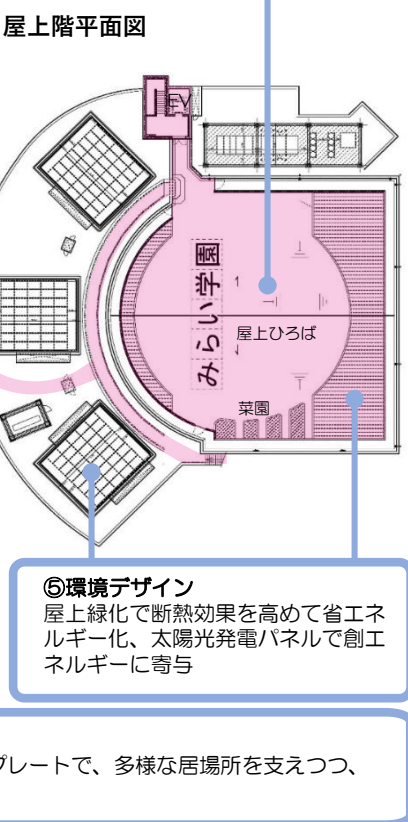
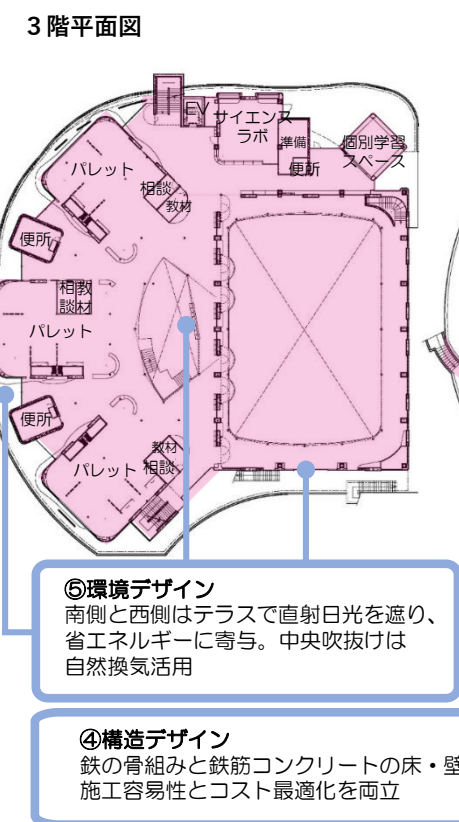
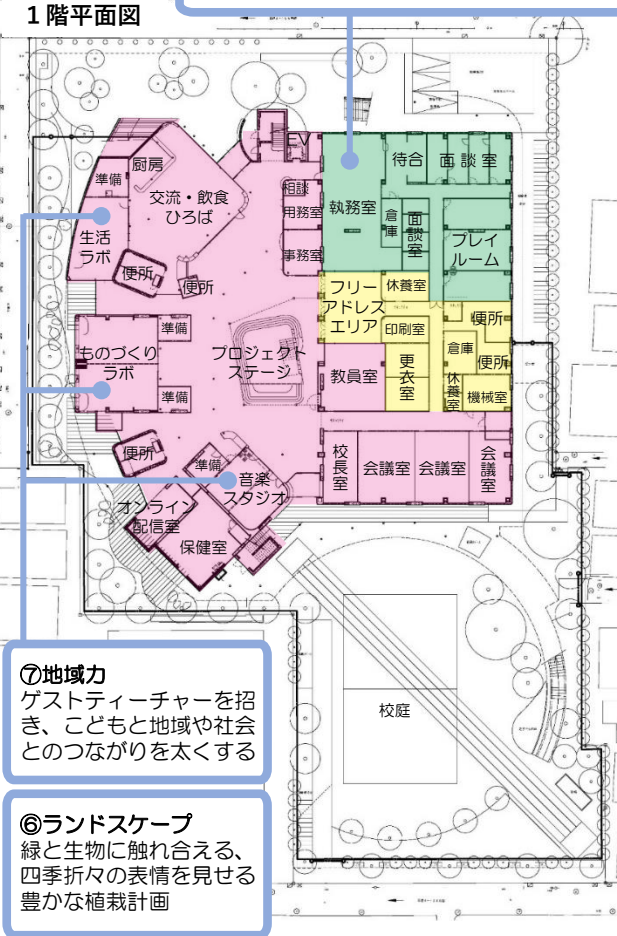
- ～8つの整備方針項目～
- ①外観デザイン、②内部空間構成、③パレット構成、④構造デザイン、⑤環境デザイン、⑥ランドスケープ、⑦地域力、⑧複合化

※本資料における「基本設計図面」は、現時点での予定であり、今後の実施設計及び協議等に伴い、変更する場合があります。

⑧複合化
児童・生徒への登校支援機能、教員研修、アセスメントや学校と関係機関との連携支援を強化

①外観デザイン
柔らかな曲線のテラスと階段で上階に後退しながら立体的につながる多様な居場所づくり

⑥ランドスケープ
屋上ひろばは、人工芝と屋上緑化、菜園を設置し、児童・生徒が活動できる居場所づくり



⑦地域力
ゲストティーチャーを招き、こどもと地域や社会とのつながりを太くする

⑥ランドスケープ
緑と生物に触れ合える、四季折々の表情を見せる豊かな植栽計画

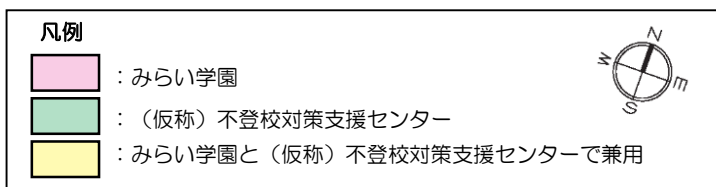
②内部空間構成
建物中央から放射状にパレットを配置して、見通しの良い居場所の選択性に富んだ空間

③パレット構成
教育活動の変化に応じて柔軟に可変できる柔らかな仕切りの1パレット12区画の構成

⑤環境デザイン
南側と西側はテラスで直射日光を遮り、省エネルギーに寄与。中央吹抜けは自然換気活用

④構造デザイン
鉄の骨組みと鉄筋コンクリートの床・壁プレートで、多様な居場所を支えつつ、施工容易性とコスト最適化を両立

⑤環境デザイン
屋上緑化で断熱効果を高めて省エネルギー化、太陽光発電パネルで創エネルギーに寄与



<不登校の定義>
文部科学省の調査上で、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるために年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義されています。

<学習集団の定義>
不登校児童・生徒は大人数がある空間や一斉一律の生活、行動規範、固定的な人間関係に馴染めないなどの傾向が報告されています。人との親密感やまとまりが得られるとともに「つかず離れず」の微妙な距離感をとることができるよう、2～8人程度を基本的な学習集団の単位とします。

<パレットの定義>
学校らしさを感じさせないよう、一般校における教室と廊下が直列して並ぶ形ではなく、家庭の個室とリビングとの関係のような使い勝手となる空間構成とします。パレットには、グループ学習スペース、ホームベース、相談室などを配置します。